

東西をつなぐ橋をきれいに

9月19日にJR追分駅南にあるセンターブリッジ（中央橋）を追分老人クラブの皆さんがごみ拾いや雑巾がけの奉仕作業を行いました。この橋は線路をはさんで東西に分かれている地区をつないでおり、通学やウォーキングをする人などに利用されています。作業後、汚れがきれいに落とされました。



敬老会で長寿を祝う



各自治会や町内会では、さまざまな形で長寿の方をお祝いでいます。そうした中、青葉町内会では、9月15日に敬老会を開催。75歳以上の方が会食をしながらカラオケやゲーム大会を行い、出席した方も一緒に楽しみました。

来賓の泉田議長も自慢の歌を一曲。小学生がそろいの着物で『おじいちゃんおばあちゃんおめでとう』という演題の舞踊を披露し、観客席から温かい拍手が贈られました。

戦争の悲惨さを 風化させてはいけない

平成20年度安平町戦没者追悼式が9月3日に追分公民館で行われ、先の大戦で亡くなられた134名の方々の名を偲び追悼の意を捧げました。

瀧町長は「戦後63年が過ぎ去り、国民の半数以上が戦争を知らない世代となつていきます。しかし、戦争の悲惨さを風化させることなく、次の世代に語り継いでいかなければなりません。」と式辞を述べ、来賓や遺族の代表も挨拶の中で、改めて恒久平和の大切さを訴えていました。

追悼式の様子は、追分公民館のホームページに掲載されています。



式辞を述べる瀧町長

安平町産農産物を販売

ぬくもりの湯では、現在、土・日と祝日に農家で栽培した豆やジャガイモなどの農産物を販売しています。

入浴などで来場の際にはぜひお立ち寄りください。詳しくは、健康福祉課までお問合せください。☎ 4555



素晴らしい作品を鑑賞

9月4日から6日まで追分公民館で胆振芸術祭写真展（主催北海道文化団体協議会など）が開催され、伊達市をはじめ8市町から87点の作品が展示されました。

また、同じ期間、同会場では追分八幡神社祭典協賛行事として追分書道連盟主催の色紙展も行われ、訪れた人は素晴らしい作品を鑑賞していました。



夏休みの作品を展示

夏休みに製作した追分小学校児童の作品などをぬくもりの湯ガーデンニングホールの陳列コーナーで9月29日まで展示。工作や自由研究の中には独創的なものもあり、訪れた人も感心して見入っていました。

